



**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

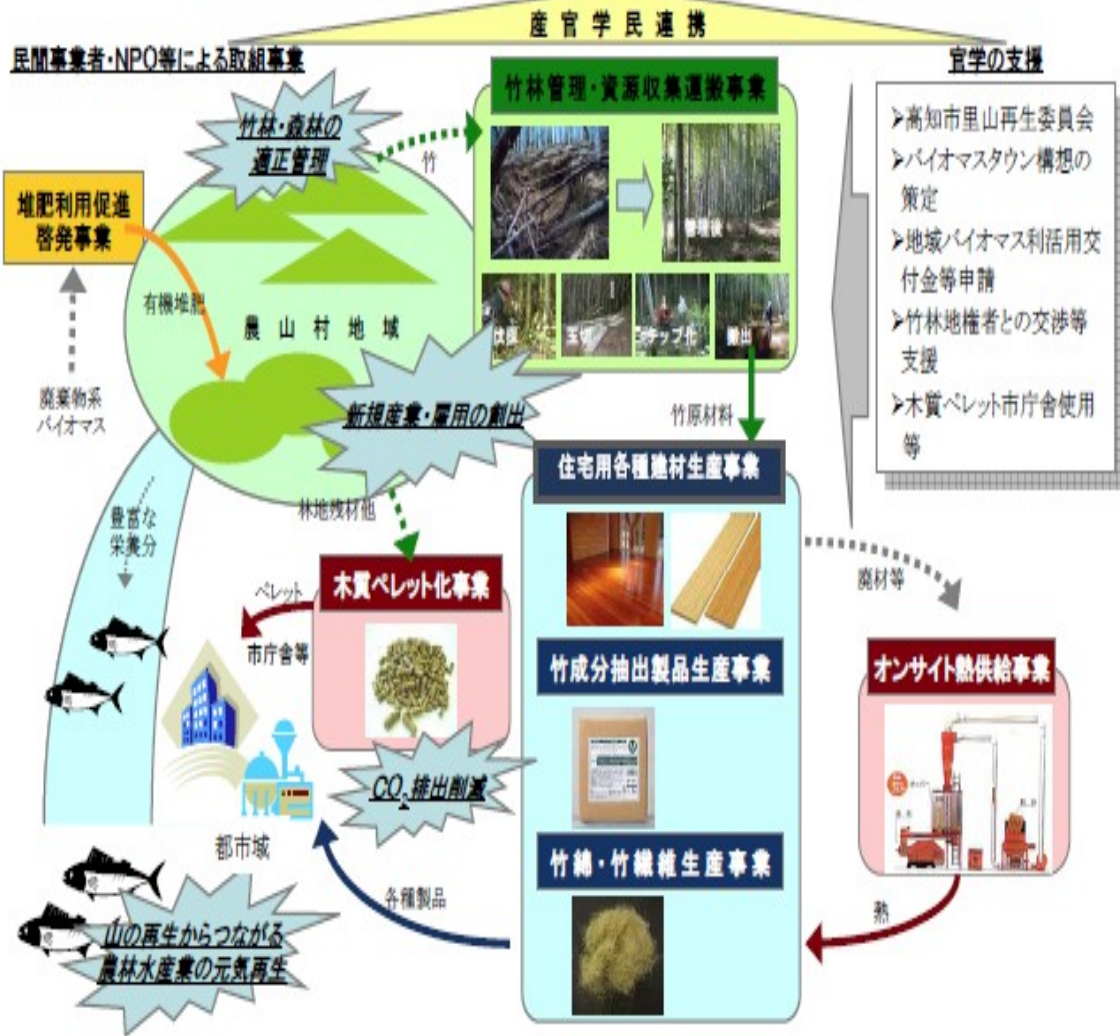
バイオマス	賦存量		現況			目標					
	重量	炭素量	変換・処理方法	仕向量		利用率 (%)	今後の 変換・処理方法	仕向量		利用率 (%)	
				重量	炭素量			重量	炭素量		
(廃棄物系バイオマス)		12,138.10			10,344.97	85			10,905.71	90	
食品 事業系	廃油	257	183.50	堆肥化・燃料化	75	53.55	29	堆肥化・燃料化	100	71.40	39
	魚あら	5,322	235.23	飼肥料化	5,322	235.23	100	飼肥料化	5,322	235.23	100
	その他	1,703	75.27	堆肥化	468	20.69	27	堆肥化	650	28.73	38
家庭系生ゴミ	6,458	285.44	コンポスト等による堆肥化・燃料化	6,458	285.44	100	コンポスト化・燃料化	6,458	285.44	100	
家庭系廃油	49	34.99	燃料化	49	34.99	100	燃料化	49	34.99	100	
家畜系廃棄物	21,638	1,291.14	堆肥化、直接販売	21,638	1,291.14	100	堆肥化	21,638	1,291.14	100	
下水汚泥	10,985	1,054.56	セメント原料化、コンポスト化	10,985	1,051.97	100	セメント原料化、堆肥化等	10,985	1,054.56	100	
農業系汚泥	1,041	99.94	堆肥化	1,041	99.94	100	堆肥化	1,041	99.94	100	
製材残材	1,390	309.61	パルク堆肥化、製紙原料化	449	100.01	32	燃料化	850	189.33	61	
建設発生木材	17,963	7,909.11	チップ燃料化	15,161	6,675.39	84	燃料化	16,167	7,118.33	90	
廃業紙	1,463	659.32	製紙原料化	1,102	496.63	75	製紙原料化	1,102	496.63	75	
(未利用バイオマス)		15,726.12			1872.70	12			6,553.84	42	
林地残材	19,642	4,375.06		0	0.00	0	燃料化	5,893	1,312.61	30	
間伐対象材	2,711	589.81	燃料化	52	11.31	2	燃料化	52	11.31	2	
竹	42,810	7,644.15	マテリアル利用(フローリング材原料)	720	128.56	2	マテリアル利用・燃料化	19,585	3,497.10	46	
果樹剪定枝	300	66.82	チップ燃料化	21	4.68	7	燃料化	21	4.68	7	
稲わら	7,796	2,231.99	敷料、飼料、堆肥	3,508	1,004.34	45	敷料、飼料、堆肥	3,508	1,004.34	45	
稲穀	617	176.65	敷料、飼料、堆肥	395	113.09	64	敷料、飼料、堆肥	395	113.09	64	
野菜等非食部	7,564	618.74	敷料、飼料、堆肥	7,186	587.81	95	敷料、飼料、堆肥	7,186	587.81	95	
ゴルフ場芝刈草	280	22.90	堆肥化	280	22.90	100	堆肥化	280	22.90	100	

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

【期待される効果】

- i) 本市の『強み』である豊富に賦存する森林資源を活かした新規地域産業(約30億円/年)の創出
- ii) i)にともなう新規雇用(約90名)の創出、
- iii) 荒廃した竹林・森林の適正管理
- iv) 山の再生からつながる農林水産業の元気再生、
- v) CO<sub>2</sub>排出削減



### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)